

# PACHINCO HALL DESIGN COMPETITION

郊外では、住宅と施設の間を家族を乗せた自動車・送迎するマイクロバス・流通するトラックがつないでいます。車のアクティビティそのものが郊外を規定していると言えます。それに伴い均質な記号でしかない建物が、生活の身近にあるふとした季節の変化や人々のいきづかいを感じにくくさせました。郊外は発見のない場所になりつつあります。

郊外に住む私たちにとって、今必要とされるべき施設は、人々の変化や、自然の変化を身近に感じられる場です。1つの行為がつぎの行為を誘発する、アクティビティを構築するシステムが必要です。

私たちは、ここに、日々の変化、不定期な変化と地域の固有性とのなかに棲息するパチンコホール「Caプロジェクト」を提案します。

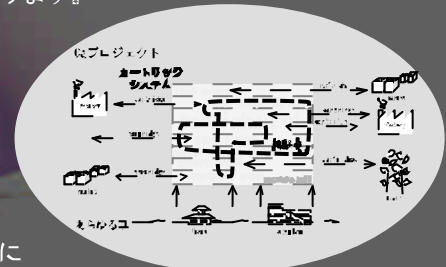
このプロジェクトは、郊外における娯楽施設の位置付けと人との関係をモデル化し、全ての店舗が地域との関係でオリジナルとなるようなシステムを計画するというものです。

建物は人からCa（人の情報）を得て構築され続けることで、生活の中に息づくひとつの骨格へととなります。

建物は人にイライラ、モヤモヤを解消するCa（それぞれの居場所、それぞれの娯楽）を提供し続けることが可能となります。

## Cartridgeシステム

容易な差し替えを可能にするためのカートリッジの規格です。床に伸びるレールと、それに沿って可動式の棚を計画します。



## リニアプランニング

空間を短冊状に並べることで、その中に様々な時間の要素を組み込むことで、変わることのできる空間、選ぶことのできる多様な空間をつくります。

AM8 AM10 PM12 PM2 PM4 PM6 PM8 PM10 PM11



パチンコ台の搬入を終える。カートリッジ方式なので搬入も楽々



デッキで1張の小冊の傾やりに傾ける。さあ10時だパチンコ台に急げ！



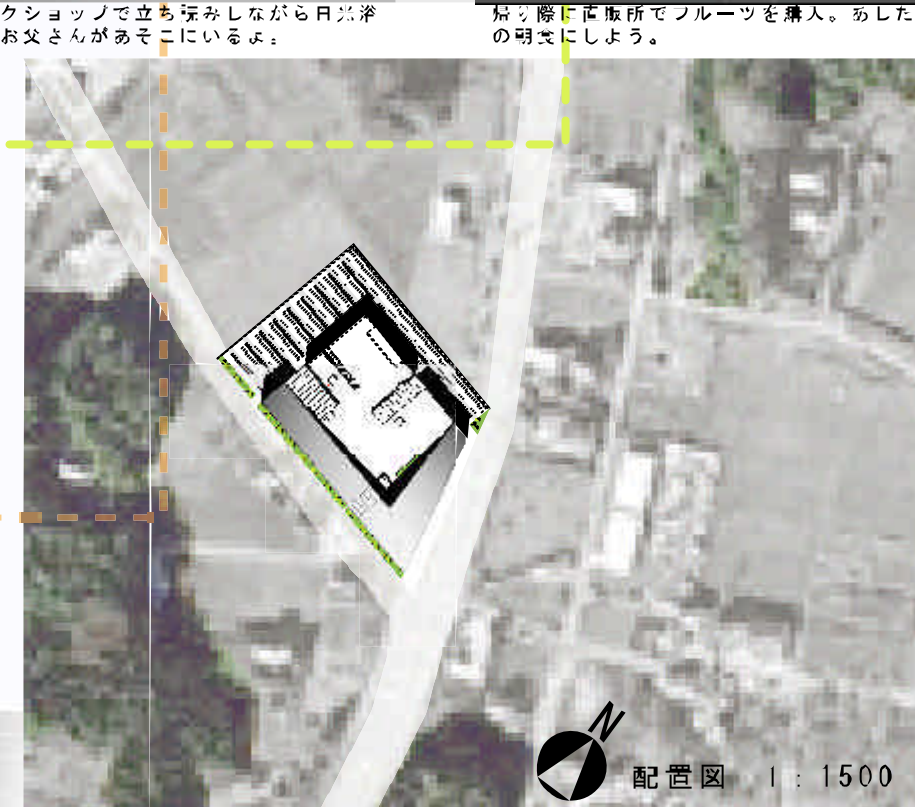
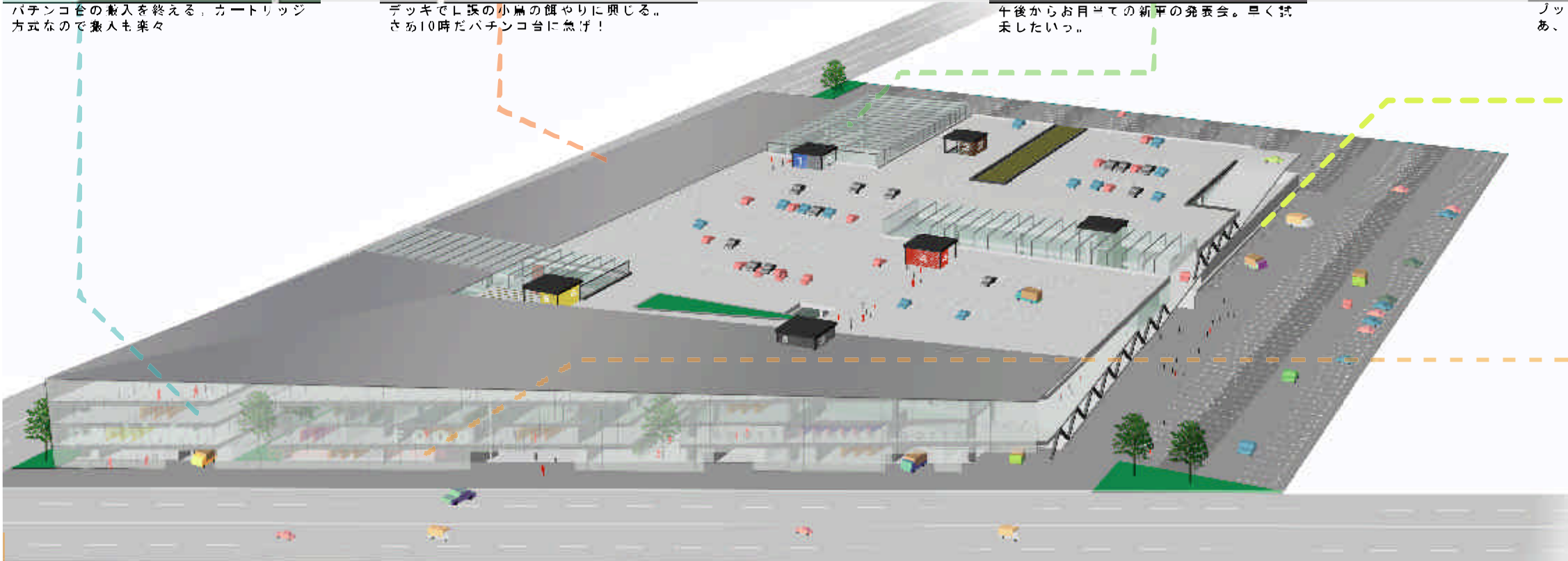
午後からお月までの新平の発表会。早く試みたって。

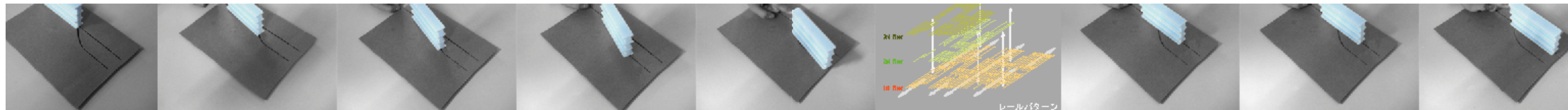


ブックショップで立ち読みしながら日光浴。あ、お父さんがあそこにいるよ。



帰り際に直販所でフルーツを購入。あしたの朝食にしよう。

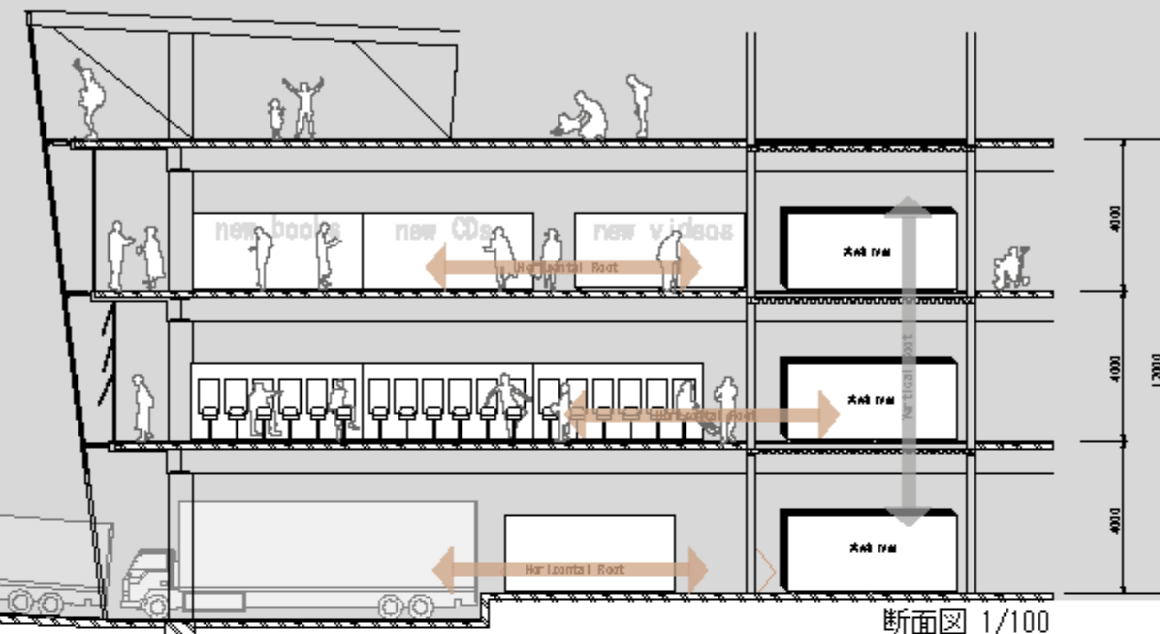
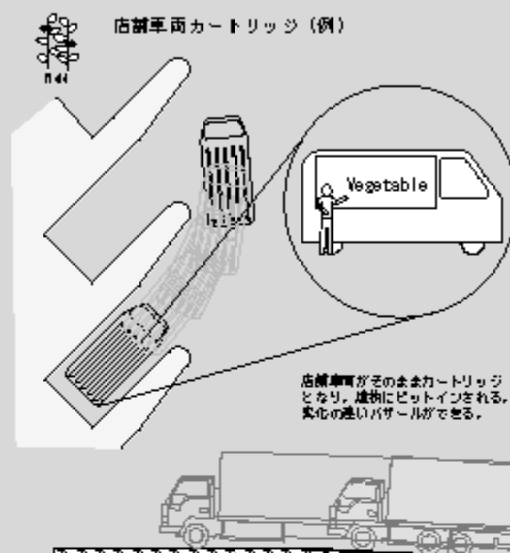
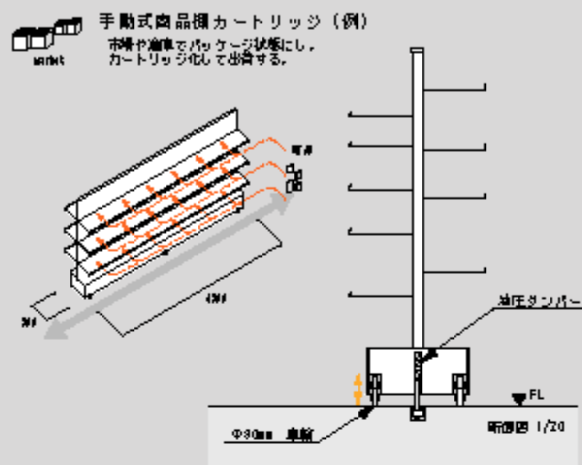
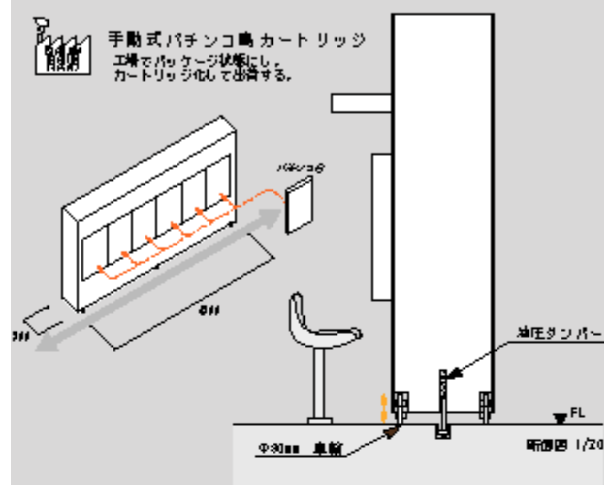




# cartridge system

必要なとき、必要なだけ！

大きく二つのカートリッジに分けられる。レールに沿っての手動式カートリッジと店舗車両カートリッジである。手動式カートリッジは、内蔵された車輪を油圧ジャッキで押し出すことで、カートリッジは移動できる状態になり、車輪を格納することで床に接地し安定する。車両カートリッジは自走式であり、仮設的な存在となる。



# linear planning

アクティビティをリサイクル

矩形の構成により、隣接した空間との境界面を薄く見え方に重層性を付与します。人の使い方により変化する空間、定期的に入れ替わるカートリッジ、自然といった様々な状況のスケールが持ち込まれることで、多様な意識、多様な選択、発見的経験を与えることになります。ここを訪れる人は主体的に経路を選択できるのです。

